



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社フジクラ

上場取引所 東

コード番号 5803 URL <http://www.fujikura.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 伊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート企画室長 (氏名) 芹澤 孝治

TEL 03-5606-1112

四半期報告書提出予定日 2019年11月5日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	343,499	5.5	5,773	59.6	4,973	48.2	814	79.4
2019年3月期第2四半期	363,610	1.1	14,276	18.5	9,609	45.4	453	96.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,532百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 5,448百万円 (75.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.85	
2019年3月期第2四半期	1.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	649,290	227,596	32.0
2019年3月期	638,318	240,910	33.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 207,885百万円 2019年3月期 216,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		5.00	12.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	680,000	4.3	15,500	44.0	13,000	38.2	1,000	31.2	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は2019年10月31日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については「自己株式の取得に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	295,863,421 株	2019年3月期	295,863,421 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	10,511,350 株	2019年3月期	10,550,952 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	285,329,093 株	2019年3月期2Q	285,260,954 株
------------	---------------	------------	---------------

(注)当社は取締役等に対する株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の業績に関する記述についてのご注意)

1. 2019年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を、本資料において修正しております。詳細につきましては、本日(2019年10月31日)に公表いたしました「特別損失の計上並びに連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会の内容の入手方法について)

当社は、2019年10月31日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会のプレゼンテーション資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は3,434億円（前年同期比5.5%減）、営業利益は57億円（同59.6%減）、経常利益は49億円（同48.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（同79.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「自動車電装カンパニー」を、従来の「エレクトロニクスカンパニー」と統合し、「電子電装・コネクタカンパニー」となっておりますが、報告セグメントに変更はありません。

[エネルギー・情報通信カンパニー]

前連結会計年度のバングラデシュ送電線工事のコスト増の反動による赤字縮小はあったものの、中国における光関連製品の競争激化の影響等により、売上高は前年同期比6.5%減の1,674億円、営業利益は同38.1%減の44億円となりました。

[電子電装・コネクタカンパニー]

(エレクトロニクスサブカンパニー)

FPC（フレキシブルプリント配線板）を中心にスマートフォン向けで減少したことにより、売上高は前年同期比10.5%減の884億円となりました。また、減収に伴う固定費負担増により、営業損失は2億円（前年同期は営業利益67億円）となりました。

(自動車サブカンパニー)

為替の影響等により、売上高は前年同期比1.7%増の790億円、営業損失は10億円（前年同期は営業損失21億円）となりました。

[不動産カンパニー]

当社旧深川工場跡地再開発事業である「深川ギャザリア」において新規テナントの入居により、売上高は前年同期比4.3%増の56億円、営業利益は同10.1%増の27億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、109億円増加の6,492億円となりました。これは主に、エレクトロニクスサブカンパニーにおける季節的要因によって流動資産が増加したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末と比較し、242億円増加の4,216億円となりました。これは主に、運転資金及び関係会社投資等が増加したことにより有利子負債が増加したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末と比較し、133億円減少の2,275億円となりました。これは主に、為替換算調整勘定や非支配株主持分が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日（2019年10月31日）公表いたしました「特別損失の計上並びに連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,794	36,856
受取手形及び売掛金	141,568	152,166
たな卸資産	117,854	115,374
その他	27,511	21,355
貸倒引当金	△469	△551
流動資産合計	323,259	325,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,881	93,007
機械装置及び運搬具(純額)	86,179	96,276
その他(純額)	52,764	49,337
有形固定資産合計	231,825	238,621
無形固定資産		
のれん	2,671	5,926
その他	9,054	8,190
無形固定資産合計	11,726	14,117
投資その他の資産		
投資有価証券	32,526	32,422
その他	39,227	39,143
貸倒引当金	△247	△215
投資その他の資産合計	71,506	71,350
固定資産合計	315,058	324,089
資産合計	638,318	649,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,999	72,326
短期借入金	137,536	135,328
未払法人税等	2,126	2,350
関係会社事業損失引当金	—	1,136
品質不適合品関連損失引当金	1,514	1,097
債務保証損失引当金	3,019	335
その他の引当金	191	183
その他	49,786	45,018
流動負債合計	259,174	257,776
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	95,968	116,299
退職給付に係る負債	9,356	10,558
その他の引当金	264	294
その他	12,643	16,765
固定負債合計	138,233	163,918
負債合計	397,408	421,694

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,075	53,075
資本剰余金	29,571	27,906
利益剰余金	131,255	130,637
自己株式	△6,327	△6,288
株主資本合計	207,575	205,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,753	3,024
繰延ヘッジ損益	△345	△88
為替換算調整勘定	8,241	2,922
退職給付に係る調整累計額	△3,560	△3,304
その他の包括利益累計額合計	9,089	2,553
非支配株主持分	24,245	19,710
純資産合計	240,910	227,596
負債純資産合計	638,318	649,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	363,610	343,499
売上原価	300,568	289,439
売上総利益	63,041	54,059
販売費及び一般管理費	48,765	48,286
営業利益	14,276	5,773
営業外収益		
受取利息	153	221
受取配当金	639	586
為替差益	—	1,329
持分法による投資利益	420	846
その他	863	881
営業外収益合計	2,076	3,864
営業外費用		
支払利息	1,792	1,897
為替差損	3,229	—
その他	1,721	2,767
営業外費用合計	6,743	4,664
経常利益	9,609	4,973
特別利益		
投資有価証券評価益	—	2,618
債務保証損失引当金戻入額	—	2,500
投資有価証券売却益	2,631	1,635
事業譲渡益	2,395	—
その他	—	6
特別利益合計	5,027	6,760
特別損失		
関係会社出資金評価損	4,501	4,780
関係会社事業損失引当金繰入額	—	1,136
退職給付に係る負債繰入額	—	836
債務保証損失引当金繰入額	3,527	—
その他	2,283	352
特別損失合計	10,312	7,105
税金等調整前四半期純利益	4,324	4,628
法人税等	2,926	2,999
四半期純利益	1,398	1,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	944	815
親会社株主に帰属する四半期純利益	453	814

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,398	1,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,648	△1,734
繰延ヘッジ損益	△326	222
為替換算調整勘定	5,611	△5,762
退職給付に係る調整額	421	263
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△151
その他の包括利益合計	4,049	△7,162
四半期包括利益	5,448	△5,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,684	△5,635
非支配株主に係る四半期包括利益	763	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,324	4,628
減価償却費	15,491	17,715
のれん償却額	1,015	946
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	3,408	△2,683
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,136
受取利息及び受取配当金	△792	△807
支払利息	1,792	1,897
為替差損益 (△は益)	2,787	△728
持分法による投資損益 (△は益)	△420	△846
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,631	△1,635
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	△2,618
関係会社出資金評価損	4,501	4,780
事業譲渡益	△2,395	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,108	△20,797
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,242	△377
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,609	11,601
その他	3,937	1,322
小計	8,276	13,533
利息及び配当金の受取額	1,255	1,781
利息の支払額	△1,812	△2,022
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,117	△4,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,602	9,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,778	△21,070
有形及び無形固定資産の売却による収入	233	406
投資有価証券の売却による収入	4,803	2,622
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,709
事業譲渡による収入	5,375	—
関係会社出資金の払込による支出	△152	△4,690
その他	△723	△2,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,241	△29,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21,505	10,228
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△2,000	2,000
長期借入れによる収入	33,882	41,729
長期借入金の返済による支出	△7,188	△27,324
社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△2,004	△1,432
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△25	△2,077
その他	△99	△1,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,068	21,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	884	△1,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,312	△93
現金及び現金同等物の期首残高	33,552	36,236
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,866	36,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

退職給付に係る負債繰入額

タイ王国における改正労働者保護法が2019年5月5日に施行されたことに伴う、退職給付債務の増加額を特別損失として計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、当社グループのIFRSを採用する在外子会社は、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しています。当該会計基準の適用にあたっては、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しました。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第2四半期連結会計期間末の固定資産が5,860百万円、流動負債の「その他」が1,799百万円、及び固定負債の「その他」が4,089百万円、それぞれ増加しています。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー・情報通 信カンパニ ー	電子電装・コネクタカ ンパニー		不動産 カンパニー				
		エレクトロ ニクスサブ カンパニー	自動車サブ カンパニー					
売上高								
外部顧客への売上高	179,047	98,842	77,751	5,435	2,533	363,610	—	363,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	169	20	—	4	467	△467	—
計	179,320	99,011	77,772	5,435	2,538	364,077	△467	363,610
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,186	6,745	△2,183	2,518	8	14,276	—	14,276

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない、事業化を検討している新規事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー・情報通 信カンパニ ー	電子電装・コネクタカ ンパニー		不動産 カンパニー				
		エレクトロ ニクスサブ カンパニー	自動車サブ カンパニー					
売上高								
外部顧客への売上高	167,441	88,455	79,041	5,668	2,891	343,499	—	343,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	268	86	0	—	16	372	△372	—
計	167,709	88,542	79,042	5,668	2,907	343,871	△372	343,499
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,448	△261	△1,013	2,773	△173	5,773	—	5,773

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない、事業化を検討している新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「自動車電装カンパニー」は、従来の「エレクトロニクスカンパニー」と統合し、「電子電装・コネクタカンパニー」となっております。

この組織改編に伴い、従来の「エレクトロニクスカンパニー」は「エレクトロニクスサブカンパニー」として、また「自動車電装カンパニー」は「自動車サブカンパニー」として表示しておりますが、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に変更はありません。